

2020年度 川崎市障がい者スポーツ指導者協議会 事業計画（案）

1 会員の育成と活動の促進

(1) 大会及びイベント等への会員派遣の促進

- ・ 会員の属性を分析して、会員が長く活動ができるよう検討する。
- ・ 大会ボランティア参加意向調査を上期下期の年2回の郵送に加えて、年度途中の意向再確認調査や追加募集もメールを活用して実施する。
- ・ 会員の活動状況の把握と派遣先のマッチング及び情報提供を継続する。
- ・ 川崎市障害者スポーツ協会と協力して大会ボランティア参加意向調査の結果を共有し、会員への連絡を徹底する。また、大会実施要領を事前配布する。
- ・ 市内団体への継続的な会員の参加を目的として、ボランティアスタッフ一覧を更新して配布する。
- ・ 会員の大会・イベント参加意欲向上を図るため、初級障がい者スポーツ指導者講習会の場において、指導者協議会の取組みについてPRするとともに、初回参加しやすい環境作りに取り組む。
- ・ 会員の大会・イベント参加意欲向上を図るため、大会ボランティア参加が多い会員に対し、表彰制度を検討し実施する。

(2) 広報活動の促進

- ・ ホームページを定期的に更新して、会員が必要な情報等を発信する。
- ・ メールアドレスを登録されている会員に対し、東京パラリンピック情報、ホームページ更新及び新型コロナウイルス感染症などの情報を発信し、情報共有を図る。
- ・ 協議会ニュースを年2回発行する。
- ・ 開催予定の教室及び講習会のポスター・申込書の配布、掲示を施設等へ依頼する。

(3) 他機関連携

- ・ 会員拡充のため、川崎市の依頼により初級障がい者スポーツ指導者講習会に講師を派遣する。
- ・ 市内スポーツ団体の依頼により、講師や審判等イベント開催に対する協力を実施する（NPO法人高津総合型スポーツクラブSELF、川崎ボッチャクラブ 他）。
- ・ 日本障がい者スポーツ協会、関東ブロック障がい者スポーツ指導者協議会及び川崎市障害者スポーツ協会と連携し、委員派遣等に協力する。

2 研修会等の実施

(1) 研修会等の実施

- ・ 会員のスキル維持・向上・養成を図るため、会員の意向が確認できるようアンケート

ト等を実施し、ニーズに基づいた講習会や教室を開催する。

- ・ 障がい者スポーツに限らず、関連する情報の獲得や提供を実施する。
- ・ 競技審判員の育成を実施する。
- ・ 東京 2020 大会に向けスポーツを通じた障害等への理解を深め、共生社会の実現を図る。
- ・ 東京パラリンピック競技を中心とした研修会を計画的に企画する。
- ・ 全国障害者スポーツ大会のルール改正等に応じた研修会を企画する。

3 市内における障害者スポーツの普及と選手育成及び強化

(1) 選手育成及び強化

- ・ 全国障害者スポーツ大会（鹿児島大会）及び強化練習への会員を派遣する。

(2) スポーツ教室及びレクリエーション教室等の開催

- ・ スポーツ教室及びレクリエーション教室等の開催に協力し、指導や助言等を実施する。
- ・ 地域における各種イベントへの積極的な参加、指導者の派遣及び各種イベント等に協力する。

(3) 市内における団体への会員派遣を継続する（陸上、卓球、ボッチャ、フライングディスク、その他）。

(4) 東京 2020 大会に向けたテストイベントの案内等を通じて、パラスポーツファンを増やす取り組みを実施する。

(5) 川崎市卓球バレー協会の立ち上げに協力する。